



登園・降園時は車に気を付けて！ ～かえるときには てをつなごう～

要 旨

先日、市内保育施設周辺で、降園時に幼児と普通乗用車が衝突する交通事故が発生しました。

保育施設の登園・降園時及び放課後児童クラブからの下校時は、道路状況が混み合う時間帯であり、交通事故発生危険性も高くなります。

このことから、本市では、静岡県交通安全協会沼津地区支部と協力し、市内保育所等施設及び放課後児童クラブを利用している保護者の方へ、お子様及び送迎者の交通安全について再確認をお願いしました。

併せて、市内保育所等施設に対し、登園・降園時の注意点を記載したポスターを作成・配布し、事故防止の啓発を行います。

概 要

- 保護者への注意喚起**

市内保育所等施設（幼稚園、保育園（所）、認定こども園、小規模保育施設）及び放課後児童クラブを利用している保護者に対し、別紙チラシ「あっ あぶない 親子で守ろう 交通ルール」（静岡県交通安全協会沼津地区支部 製作）により、登園・降園時及び児童クラブからの下校時の交通安全について保護者とお子さんと再確認するようお願いしました。
- 啓発チラシの掲示**

市内保育所等施設に対し、別紙ポスターA3判3種類（静岡県交通安全協会沼津地区支部 製作）を配布し、登園・降園時に目立つ場所に掲載をお願いするものです。

なお、6月9日(月)14時30分から、沼津市立大平こども園幼児部（沼津市大平2205-1）にて、静岡県交通安全協会沼津地区支部 交通安全指導員がポスター掲示をしながら園児及び保護者に対し降園時の交通安全の呼びかけを行いますので、是非取材くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ先

沼津市役所 政策推進部 生活安心課

直通:055-934-4742

沼津市役所 市民福祉部福祉事務所 こども未来創造課

直通:055-934-4842



おんなのこはどこにいるか
わかるかな？



うんてんしゅさんから見えな
いこともあるよ

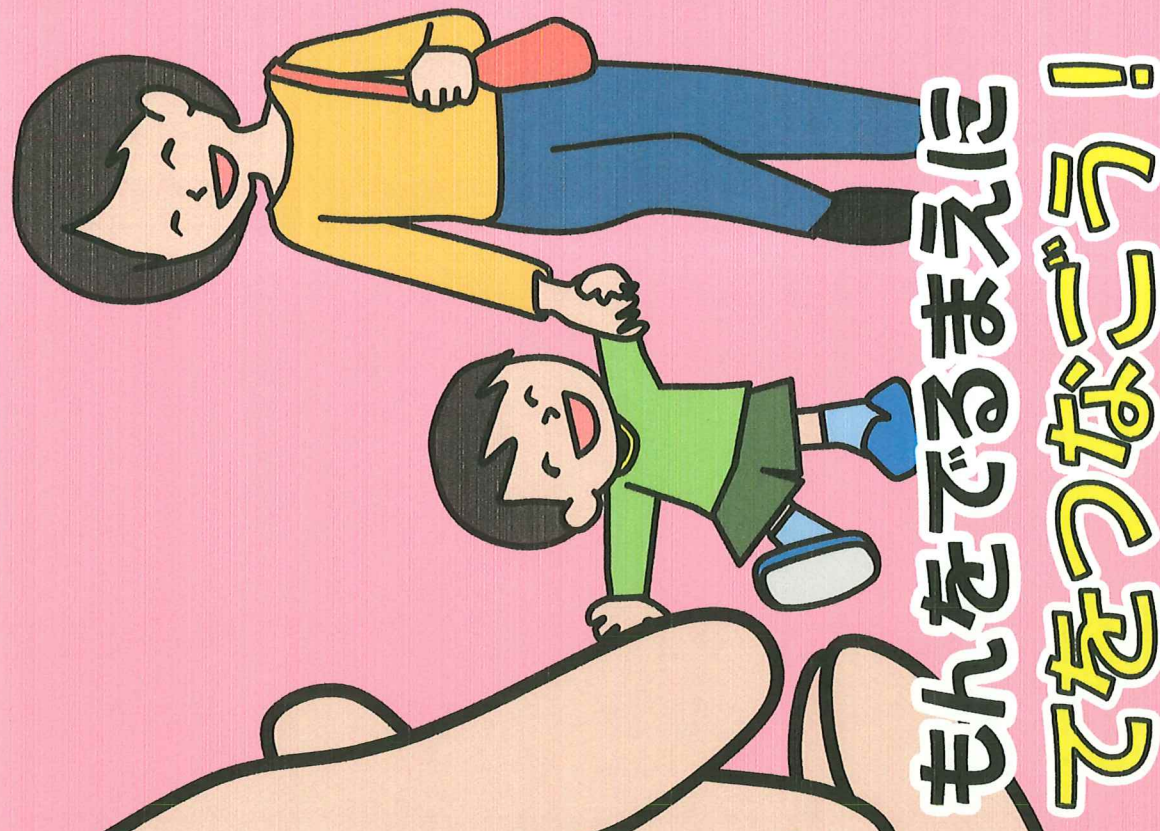
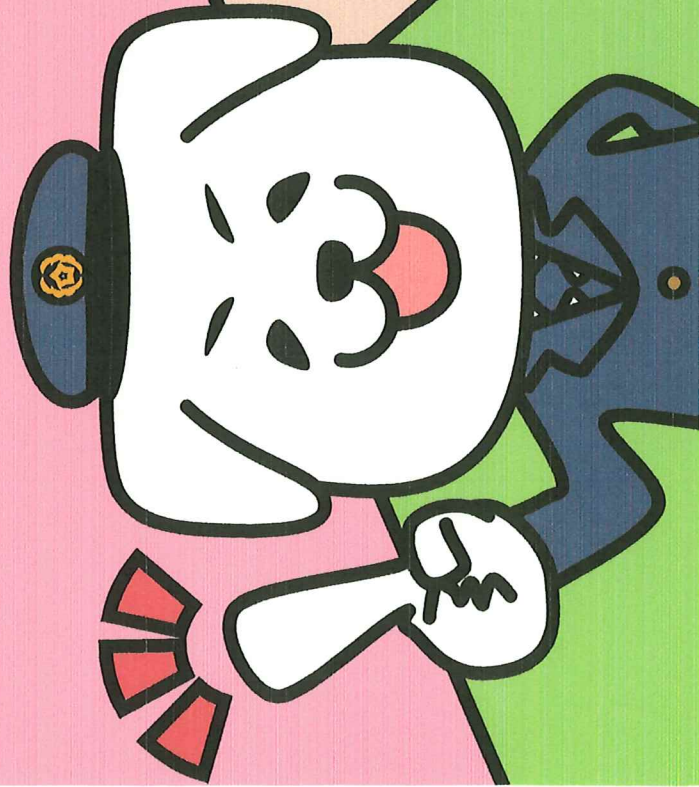


おとなのひとと
てをつないでいるこうね

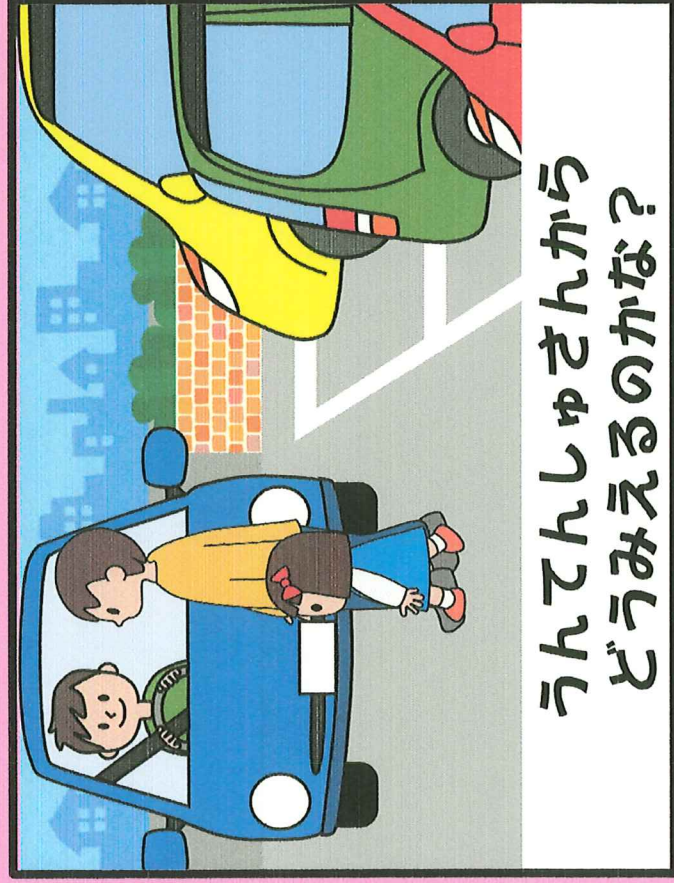
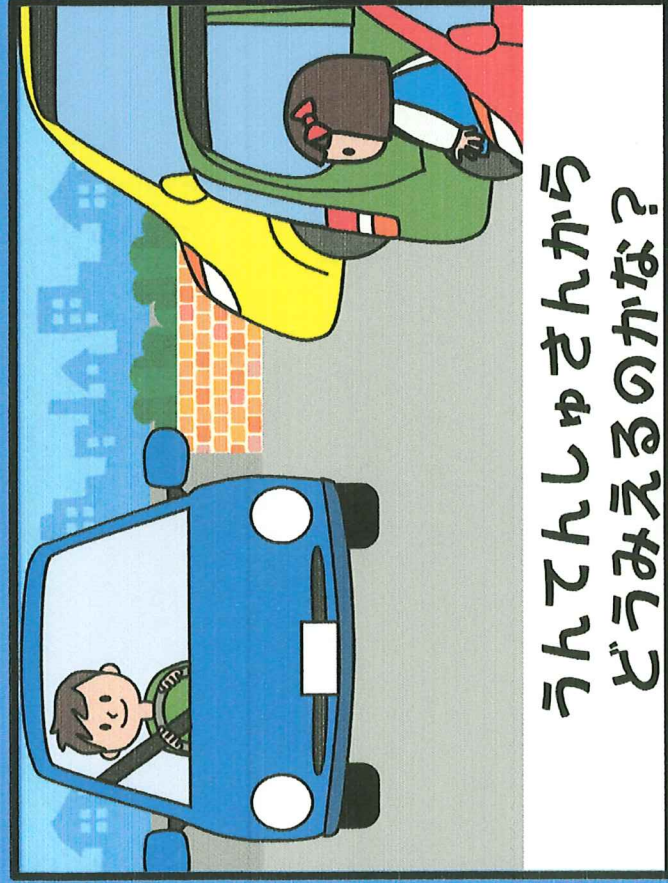


交通安全協会沼津地区支部

ちよつと
まいった！



もんをでるまえに
てをつなごう！





親子で守ろう 交通ルール

「交通安全は家庭から」大切な子供の命を守るためには、まず一番身近な保護者のみなさんが、毎日の生活の中で**繰り返し指導**することが大切です

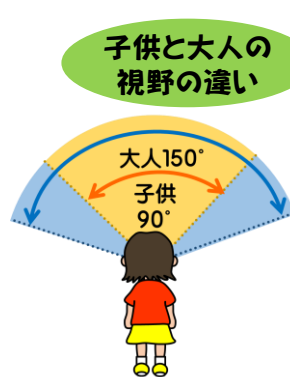
□子供の特性を理解しましょう



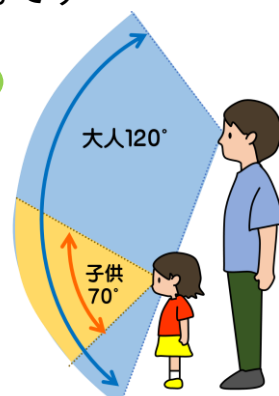
□一つのことに注意が向くと
周りの物が目に入らなくなる



□大人の真似をしたり、
大人に依存して行動する



□大人に比べると視野が狭く、身長も低い
ため、大人と見える世界が異なる



□ご家庭で交通安全指導をしましょう

✗ 抽象的な言葉では
よく理解できない

車に気を付けてね



○ 具体的な言葉で何にどう
注意すべきか指導する

左から赤い車が来ているよ
止まってくれるかな？



《指導ポイント》

- 小さなときから繰り返し
声かけをしましょう
- 具体的な言葉で指導
しましょう
- 公道で実践形式で練
習しましょう
- 子供の目線の高さに
合わせて確認しましょう
- 子供自身にも安全を確
認・判断させましょう

歩育

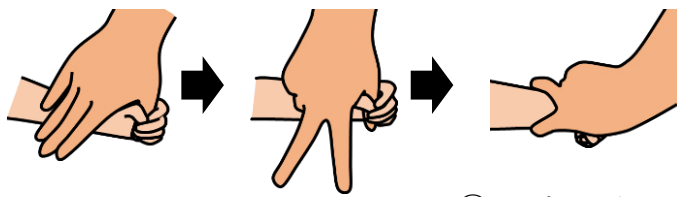
交通安全の芽

親子で一緒に道路を歩くとき、どのようなことに気を付ければよいのでしょうか？



振りほどきにくい手のつなぎ方

子供の不意の「とびだし」を防ぐために、道路を歩くときは必ず手をつなぎましょう

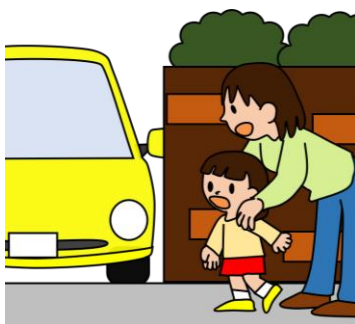


- ① 子に親指を握らせる
- ② チョキの形を作る
- ③ チョキの手で子の手首をつかむ



歩くときのポイント

- ☐ 道路に出る前はまず**止まる**
- ☐ 保護者が車道側、子が建物側を歩く
- ☐ 曲がり角、駐車場の出入口は止まる・見る・待つ
※駐車場内を歩くときも手をつなぎましょう



渡るときのポイント



① 渡る前にまず「止まる」

飛び出し防止。車道から少し離れた安全な場所で「止まる」

② 運転手に見えるよう「右手を挙げる」

必ず車が止まるわけではないので、手を挙げてもすぐ渡らない

③ 車などが来ないか「見る」

子供の目線から車は見えているか、ただ首を振るだけになっていないかチェック。車を見ていないときは、「右から何色の車がくる？」など、車に意識がいくように声かけを工夫する

④ 周りが見えづらいときは音を「聞く」

⑤ 車が来ていない・止まってくれたら

「手を挙げたまま渡る」

☐ 安全確認で見るところ



安全確認後にも確認しましょう！

渡る前は青色でも安全確認後、渡りだすときに赤色になっていることもあります